

公共部門情報共有コミュニティ「フューチャーガバメント」

～都市マネジメントに関する情報共有の場「Best-Run City フォーラム」に参加～

シンガポール事務所

シンガポールは国が小さく、周辺国と比べ美しい自然や歴史的建造物など観光資源が豊富ではありません。しかしシンガポール観光局を中心に、国を挙げて観光客誘致に取り組んだ結果、2012年の来訪者数は1000万人を超え、ますます観光立国として存在感が増しています。観光客誘致の手段として、国際会議の開催もその一つで、毎年多くの会議が開催され世界中から参加者を集めています。

国際会議の一つで、アジア・ヨーロッパの各都市から市民サービス・都市管理において直面する様々な課題について対話し、情報交換を行う「Best-Run City フォーラム（7月25～26日開催）」に出席しましたので報告します。

■「Best-Run City フォーラム」とは？

「Best-Run City フォーラム」は、シンガポールとオーストラリアを拠点に「ALPHABET MEDIA 社」が主催しています。「ALPHABET MEDIA 社」は公共機関のガバナンス・サービス及び市民参画の向上のための国際ネットワーク「フューチャーガバメント」を設立し、「Best-Run City フォーラム」の運営のほか、都市管理に関する調査・情報収集、出版等を行っています。

このネットワークは9年間の活動で約6万人の公共部門の幹部職員が参加し、先進事例の紹介と対話を通じた情報交換が実施されており、その成果はレポートに反映され共有されています。さらに「フューチャーガバメント」はリサーチ部門を持ち、先進都市の都市管理情報や情報化に向けた取組みについてデータベースを構築しています。このデータベースは、顧客の要求によって情報提供が行われています。

■フォーラムの概要

今回フォーラムは、市民参画・革新的な公共サービス・グッドガバナンス・都市の安全安心の4つのセッションに分かれ、各都市の事例や課題等について発表された後、グループごとに、現在抱える問題点や課題について協議が行われました。

具体的には「都市を持続的な発展を実施するためには、どのような戦略や利害関係者の参画が必要について、シドニー及びロンドンの事例」、「市民から求められる公共部門の情報共有（オープンデータ）、透明性について、カナダ・エドモントンの事例」、「都市の発展を促進するために、効果的な人やモノの接続性の向上に取り組むイギリス・バーミンガムの事例」、「市民からの多岐にわたる公共サービスの要求と財政難に民営化を手法に対応してきたニュージーランド・ウエリントンの事例」など、出席者に情報共有されました。これらキーノートスピーカーから提供される事例をも



フォーラムの様子

とに、参加者がテーブルごとに意見交換を行い、全参加者の保有する知恵や経験を共有化したり、テーマごとにリモコンによる意見集約を行うなどの取組みも行われました。

各セッションでの共通の課題として一つに、情報化社会が進む中、「都市が保有する情報をオープンデータとしてどのように活用が可能か」について議論がありました。これに関する具体的な事例について、都市開発計画の際オープンデータを活用し、富裕層と貧困層が分断されていた地域の特徴を把握し、その緩和と都市としての接続性を向上させるため、都市交通網の整備を行ったロンドンの事例やカナダ・エドモントンで行われている市民のツイッター情報も取り込んだ渋滞情報や道路工事情報などの情報発信の状況などが参加者に共有されました。二つに、「よいガバナンスとはどういったものか」について、財政危機から民営化に取り組んだウエリントンの事例などをもとに意見交換が行われました。都市の将来計画における政策決定過程において、市民参画をどのように構築できるかについては、参加者のどの都市も検討している課題でした。

■シンガポール政府関連機関（One North 及び道路集中管理センター）の視察

フォーラム終了後、シンガポールの政府関連機関である、都市インフラを整備する JTC コーポレーション(以後、JTC)と陸上交通ネットワークを管理する陸上交通庁の道路集中管理センター（以後、ITSC）を視察しました。

JTC コーポレーションは、通商産業省（Ministry of Trade and Industry）管下の法定機関であり、シンガポール最大の産業、都市開発事業者です。1968 年以来、シンガポールの都市開発におけるマスタープラン作成と工業団地開発を担ってきました。視察は、産業の高度化を狙い、研究開発拠点の開発を行っている「ワンノース」を訪問しました。

JTC の役割や「Live, work and play」が一体となった街づくりを目指すワンノース開発の重要なコンセプト「接続性の向上」について説明を受けました。

またもう一つの訪問先である ITSC では、シンガポールで行われている都市交通管理方法について説明を受けました。ITSC は、渋滞・事故・駐車場情報等を集中管理し、渋滞緩和、違反者への対応、事故処理、道路状況の情報発信など、シンガポールにおける道路交通管理の要として役割を担っています。ERP (Electronic Road Pricing: 電子式道路料金徴収システム) により、時間帯や道路混雑の状況に応じて、通過料金を弾力的に引き上げることで、交通渋滞をコントロールしている様子を実際に見ることができました。

今回機会をいただき、公共部門の情報共有の場として開催されている「Best-Run City フォーラム」に参加させていただきました。都市管理については、どの都市も市民参画のシステム化など同様の課題を抱えています。先進技術の活用により、その課題解決を試みっていますが最適な答えには至っていません。フォーラムの最後に参加者から「誰もまだベストな解決方法は見つけていないが、解を見つけようと挑戦し続けている」と声上がり、クリアとしても日本の自治体の課題解決に向け、各国の取り組みを紹介していきます。

〈参考資料〉

「JTC」：http://www.clair.org.sg/j/report/info/pdf/201203_Ota_City.pdf

「ワンノース」：http://www.clair.org.sg/j/report/info/pdf/201205_Astar.pdf

(Best-Run Cities フォーラム聴取等)

(則松所長補佐 北九州市派遣)